

# 第2学年 英語科学習指導案

日時：平成28年7月7日（木） 6校時

場所：2年A組

学級：2年A組（男子18名 女子17名 計35名）

指導者：高橋 沙季（T1） 門前 多恵子（T2）

レネー・ダニエル・エストリッジ（T3）

## 1 単元名 PROGRAM3 What Can We Do for Others?

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本単元では、主人公がインターネットを通じて世界で行われているチャリティを知り、友だちとの対話から、日本でもチャリティが行われていることに気づく。そして、中学生の自分たちにできる活動を考える場面へと続く。昨年、生徒はSUNSHINE ENGLISH COURSE1のPROGRAM3でリサイクル活動について学習している。また、生徒は生徒会活動を通じて、募金活動やごみゼロ運動に取り組んできた。よって、本単元は生徒が身近に感じられる題材であるとともに、生徒会活動などへの意欲も高めることのできるものであると考える。

本単元の言語材料としては、義務や必要性を意味するmustやhave to、従属接続詞that（省略可能）を伴い、考えや思いを伝えるthinkを扱っている。これらは、中学校学習指導要領（外国語編）の（2）言語活動の取り扱い（言語の働きの例）「c 情報を伝える」「d 考えや意図を伝える」にあたる。mustやhave to、thinkは使用頻度も高く、日常的に用いられる表現である。これらを学ぶことによって、生徒の表現の幅がさらに広がると考える。自分に関わることや、自分の考えや思いを表現する活動を取り入れることで、自分を知ってもらうことの喜びや、相手のことを知る楽しさを感じさせたい。

#### (2) 生徒観

本学級は意欲的に自分の考えや思いを表現する生徒が多い。定期的にスピーキングテストを行ってきたことで、英語を話すことはあまり抵抗なく取り組んでいる。また、スキットを作成する際には、パターンプラクティスで用いたものではなく、自分の伝えたいことを積極的に取り入れようとする生徒も見られる。しかし、相手の考えや思いを知ろうとする意欲は低く、自分の思いを伝えることで完結していると感じる。自分のことだけでなく、相手の思いを受け取り、考えることもコミュニケーションには重要であることから、他者の発表を聞く活動も取り入れていく。

本学年の生徒は、昨年度から、スピーキングテストを受ける前段階として書くことを位置づけており、英文を書く習慣をつけてきた。しかし、昨年度のCAN-DOテストでは県比85.8と、書くことの指導に課題があることがわかった。この課題を克服する手立てとして、今まで行ってきたドリル形式の活動だけでなく、その文型や語彙を用いて自分のことや伝えたいことを書く活動が必要であると考え。平成27年度岩手県中学1年生英語確認調査（CAN-DOテスト）結果は以下の通りである。

観点	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
正答率	87.4		72.9	41.7
県比	103.0		107.9	85.8

### (3) 指導観

本単元では各セクションにおいて、身につけさせたい文型や語彙のパターンプラクティスを十分に行い、定着を図る。また、必要に応じて、実際の使用場面を具体的にイメージさせるために、絵や画像を用いる。学校生活におけるルールや自分の目標について自己表現するタスクを設定することで、生徒に英語を学ぶ必要性を感じさせたい。さらには、ペアやグループ、クラスの仲間と対話する活動を取り入れることで、英語で自分のことを伝えたり、相手のことを理解したりする楽しさを感じさせたい。

また、書くことが課題であることから、本単元の言語材料においてもドリル形式の書くことの活動を継続する。ドリルだけでなく、生徒自身が伝えたいことを表現できる活動も行いたい。

## 3 単元の目標と評価規準

### (1) 単元の目標

- ・積極的に自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えや思いを聞いたりしようとしている。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・mustやhave toの用法を理解し、それらを用いてしなければならないことを伝えることができる。  
【外国語表現の能力】
- ・thinkを用いて自分の考えを伝えたり、相手の思いを理解したりすることができる。  
【外国語表現の理解】
- ・mustやhave to、thinkの用法を理解し、正しく使うことができる。  
【言語や文化についての知識・理解】

### (2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
英語を用いて、自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを聞いたりしようとしている。	mustやhave to、thinkを用いて、しなければならないことや自分の思いを、適切な英語を用いて相手に伝えることができる。	相手の話を聞き、相手の思いやしなければならないことを理解することができる。本文の内容を聞き、話の概要を適切に聞き取ることができる。	mustやhave toを英文の中で正しく使うことができる。

## 4 単元の指導計画 (総時数9時間)

セクション	時	学習課題	主な学習内容
1	1	日本と外国の学校のルールを比較しよう。	・助動詞must、must notを用いてそれぞれを口頭で発表する。
	2	「～しなければならない」をすらすら話し、正しく書こう。	・スピーキングテストを受ける。
2	3 本時	自分の夢や目標を発表しよう。	・夢や目標を達成するためにする必要のあることを口頭で発表する。
	4	「～する必要がある」をすらすら話し、正しく書こう。	・スピーキングテストを受ける。
3	5	自分の考えを詳しく発表しよう。	・ある事柄に関して、Yes/Noだけでなく、なぜそう考えるのかをthinkを用いてグループで交流する。

	6	「～だと思おう」をすらすら話し、正しく書こう。	・スピーキングテストを受ける。
4	7	マウイ島で行われているチャリティの情報を聴き取ろう。	・本文の概要を聴き取る。 ・音読練習をする。
	8	Lisaが紹介しているチャリティはどのようなものだろう。	・本文の概要を聴き取る。 ・音読練習をする。
	9	LisaとTakeshiが考えているのはどのようなチャリティだろう。	・本文の概要を聴き取る。 ・音読練習をする。

## 5 本時の指導

### (1) 目標と評価基準

目標	おおむね達成【観点】	未達成の場合の支援
have toを用いて、自分の夢や目標の実現に向けてしなければならないことを相手に伝えることができる。	① しなければならないことを相手に伝えたり、相手のしなければならないことを聞いたりしようとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ② have toを用いて、自分の夢や目標のためにする必要のあることを発表することができる。 【表現の能力】	① 教師と一緒に音読練習をさせる。 ② 例文を書かせ、音読練習をさせる。

### (2) 指導の構想

別紙 授業構想シート参照

### (3) 展開

段階	学習内容	学習活動	教師の指導・支援 ○評価【観点】 ●UD視点
導入 3分	(2分前学習)	(Dangan input) ペアで単語の練習をする。	
	1 Warm-up 2 課題設定	曜日・日付・天気・時間について英語で答える。	
展開 4分3分	自分の夢や目標を発表しよう		
	3 授業の流れの確認 4 have toの導入	教師のスキットを、写真を参考にしながら聴き取る。 (例) A: What's your goal? B: I want to be a flight attendant. So, I have to study English hard. A: That's great!	・場面をテレビに映す。 ●視覚化 ・T1、T2、T3がそれぞれの目標や夢を話す。具体的にイメージできる写真・絵を用いる。

	5 パターンプラクティス	動詞を入れ替えて口頭練習をする。 (例) practice hard study hard save money	・場面や動詞を表す絵をテレビに映す。 ●視覚化 ・T1、T3で行う。T2は机間巡視をし、個別の支援を行う
	6 チェック	教師が見せるイラストをhave toを用いて話す。	・T1：1号車（窓側） T2：2号車（真ん中） T3：3号車（廊下側）
	7 スキットを考える	対話文をペアで作成する。発表練習をする。グループで交流する。	①しなければならないことを相手に伝えたり、聞いたりしようとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ②have toを用いて目標を達成するためにする必要のあることを発表することができる。 【表現の能力】 ●共有化
	8 発表	スキットの発表。	・スキットをグループで交流させる。 ・何人かに発表させる。 ●共有化
終末 4分	9 振り返り・まとめ	振り返りシートに記入する。 自分のしなければならないことを、have toを用いて書く。	
	(例) I want to be a flight attendant. So, I <b>have to</b> study English.		
	10 次時の予告		

(4) 板書計画

Thursday, July 7<sup>th</sup> sunny

自分の夢や目標を発表しよう。

① Dangan input

② Today's point

③ Practice

④ Check

⑤ Make a skit

⑥ まとめ（振り返り）

I have to study English.

I don't have to study English.

A: What's your goal?

B: I want to be a flight attendant.  
So, I **have to** study English.

---

A: That's great! +1

I have to study English.